## Qanat Universe エージェント (奉行 V ERP クラウド) 共有サーバのフォルダを参照するための 設定手順書

2025/04 版



はじ	めに	3
1.	環境 1、環境 2 に共通するユーザーを作成	4
2.	環境 2 にて共有設定を実施	9
3.	環境1にて Qanat Universe エージェントから参照するための設定を実施	12

はじめに

本書では Qanat Universe エージェント(奉行 V ERP クラウド)から外部の Windows 環境(クライ アント PC、サーバーOS)にあるフォルダを参照するための設定手順について説明します。

本書での構成は下記になっております。



環境1 環境2 QanatUniverseエージェントの導入環境 参照先フォルダ(tmpフォルダ)がある環境

以降、Qanat Universe エージェントの導入先を環境 1、参照先フォルダがある環境を環境 2 として説明します。

大きな手順は以下となります。

- 1. 環境 1、環境 2 に共通するユーザーを作成
- 2. 環境2にて共有設定を実施
- 3. 環境1にて Qanat Universe エージェントから参照するための設定を実施

※注意点

ネットワーク越しのファイル、フォルダに対する操作となるため、ネットワークが原因でのエラーが発生する 可能性があります。ネットワークが原因である場合には製品側での対処・回避は難しいため、この点に ついてご了承いただいたうえで本設定をご利用ください。 1. 環境 1、環境 2 に共通するユーザーを作成

まず環境1から環境2を参照するための共通のユーザーを作成します。 最初に環境1にログインし、手順を実施します。

1. Windows のスタートメニューから「Windows 管理ツール/コンピューターの管理」を選択します。

	🦰 Windows 管理ツール 🛛 💧
	ミントレンション・ター (SCSI イニシエーター)
	ODBC Data Sources (32-bit)
	○DBC データ ソース (64 ピット)
8	🞆 Windows メモリ診断
<b>F</b> h	1ペント ビューアー
اللاعا	🛹 回復ドライブ
2	🎒 コンピューターの管理
ŝ	3) コンボーネント サービス
ds	🤹 <del>サ</del> -ビス
0	🧧 システム構成
1	▶ 検索するには、ここに入力します

2. 「システムツール/ローカルユーザーとグループ/ユーザー」の右クリックメニューを開き 「新しいユーザー」を選択します。



3. 接続用のユーザーを作成します。

ユーザー名、パスワードの入力と、設定値「ユーザーは次回ログオン時にパスワードの変更が必要」 の OFF、「パスワードを無期限にする」を ON にし「作成」ボタンを押し、作成後に「閉じる」を押し ます。

ここで作成するユーザーと同じ情報で環境 2 にユーザーを作成する必要があるため、本情報は 忘れないようご注意ください。

※ここではサンプルとして以下ユーザー名、パスワードで作成します。

ユーザー名、パスワードは適宜変更してください。

- ユーザー名 : QUAUser
- パスワード : P@ssw0rd

※必要に応じて、フルネーム、説明欄も記述してください。

新しいユーザー		?	×
ユーザー名(U):	QUAUser		
フル ネーム(F):			
説明(D):			
パスワード(P):	•••••		
パスワードの確認入	力(C):		
🗌 ユーザーは次回[	1グオン時にパスワードの変更が必要(M)		
ロューザーはパスワ	ードを変更できない(S)		
☑ パスワードを無期	限にする(W)		
□ アカウントを無効	)にする(B)		
ヘルプ(H)	作成(E)	閉じる((	D)

4. 作成したユーザーの右クリックメニューから「プロパティ」を選択します。



AUserのフロハラ	7́1			?
リモート制御	リモート デスク	トップ サービスのプロ	ファイル	ダイヤルイン
全般	所属するグループ	プロファイル	環境	セッショ
所属する2/ルーフ	( <u>Μ</u> ):	 ユーザーのグルーフ	* メンノ(ーシッツブ	に対する変更
	削除(R)	は、そのユーザーカ	「次にログオンす	るまでは有効に
追加(D)		ゆりません。		

5. タブ「所属するグループ」を選択し、「追加」ボタンを押します。

6. 表示されたダイアログにて「Administrators」と入力し、「名前の確認」ボタンを押します。

グループの選択	×
オブジェクトの種類の選択(S):	
グループ	オブジェクトの種類(O)
場所の指定(F):	
EC2AMAZ-QN6ODVG	場所(L)
選択するオブジェクト名を入力してください (例)( <u>E</u> ):	
Administrators	名前の確認(C)
詳細設定(A)	キャンセル

7. グループが見つかったこと(入力欄の表示が変わったこと)を確認し、「OK」ボタンを押します。

グループの選択	×
オブジェクトの種類の選択(S):	
グループ	オブジェクトの種類(O)
場所の指定(F):	
EC2AMAZ-QN6ODVG	場所(L)
選択するオブジェクト名を入力してください (例)(E):	
EC2AMAZ-QN6ODVG¥Administrators	名前の確認(C)
詳細設定(A)	OK ++>>セル

8. 入力した「Administrators」グループが作成した QUAUser に追加されたことを確認し、「適用」 ボタンを押し、「OK」ボタンを押して閉じます。

QUAUserのプロパティ				?	×
リモート制御 全般 「	リモート デスク 近属するグループ	トップ サービスのプロフ プロファイル	7ァイル 環境	ダイヤルイン セッション	,
所属するグループ(M	):			·	
🧶 Administrato	rs				
追加(D)	削除(R)	ユーサーのクルーフ は、そのユーザーが なりません。	メンバーシップに 次にログオンする	:対する変更 るまでは有効に	
	ОК	キャンセル	適用(A)	ヘルプ	

9. 本項「環境 1、環境 2 に共通するユーザーを作成」の手順 1. ~8. を、環境 2 においても 実施します。

QUAUserのプロパラ	ł				?	×
リモート制御 全般	リ <del>1</del> 所属する/	Eート デスク グループ	トップ サービスのご プロファイル	プロファイル 環境	ダイヤルイン	,
所属するグルーブ 参 Administra 参 Users	'(M): ators					
追加(D)	前川	馀(R)	ユーザーのグル・ は、そのユーザ なりません。	ーブ メンバーシップに ーが次にログオンす・	に対する変更 るまでは有効に	
[	ОК		キャンセル	適用(A)	ヘルプ	

環境1、環境2に同じ情報をもつユーザーが作成できたら本項は完了となります。

## 2. 環境2にて共有設定を実施

次に、環境2にて環境1から参照するための設定をおこないます。

1. 環境 2 にログインし、参照先のフォルダの右クリックメニューから「アクセスを許可する/特定のユーザー」 を選択します。

※ここではサンプルとして、参照先フォルダを「C:¥tmp」として説明します。

^	名前	^	更新日時	種類
		表示(V)	>	このフォルダーは空て
		並べ替え(O)	>	
		グループで表示(P)	>	
		最新の情報に更新(E)		
		このフォルダーのカスタマイズ(F)		
		貼り付け(P)		
		ショートカットの貼り付け(S)		
		元に戻す - 名前の変更(U)	Ctrl+Z	
		🔰 EmEditorでファイルから検索		
		アクセスを許可する(G)	>	🔒 アクセスを削除する
		🗞 WinMerge		🙇 特定のユーザー
		新規作成(X)	>	
-		プロパティ(R)		

2. 表示されたダイアログにて、作成したユーザー名を入力し「追加」を押します。

🔹 ネットワーク アクセス	
共有する相手を選んでください	
ら前を入力して [追加] をクリックするか、または、タ	F印をクリックして相手を検索してください。
QUAUser	~ 追加(A)
名前	アクセス許可のレベル
& Administrator	読み取り/書き込み ▼
Administrators	所有者
<u> </u>	

.

3. 追加したユーザーの「アクセス許可のレベル」を「読み取り/書き込み」に変更し、「共有」ボタンを押します。

				_		×	
🔹 ネットワーク アクセス							
共有する相手を選んでください							
名前を入力して [追加] をクリックするか、または、矢印をタ	クリックして相手を検索	ましてください。					
		~	i	追加(A	l)		
名前		アクセス許可の	のレベ	ll -			
& Administrator		読み取り/書き	込み	•			
Administrators		所有者					
2 QUAUser		読み取り 🔻	~	読み	取り		
				読み	取り/書	き込み	
				削隊	ŧ		
<u> 共有の問題の詳細を表示する</u>							

4. フォルダが共有された旨が表示されたことを確認し、「終了」を押します。

		_		$\times$
←	2巻 ネットワーク アクセス			
	ユーザーのフォルダーは共有されています。			
	共有を設定したこれらの項目にリンクしているユーザーに <u>電子メールを送信</u> するか、またはリンク4 貼り付けることができます。	<u>122-</u> רלג	任意のア	プリに
	個別の項目			^
	tmp ¥¥EC2AMAZ-QN6ODVG¥tmp			
			終了	(D)

 参照ができるかを確認するため、環境1にログインしてエクスプローラーより手順4.で共有設定した フォルダが参照できるかを確認します。手順4で表示されたパス値のホスト名部分をIPに変更し、エ クスプローラーより参照します。
 ※環境2の共有フォルダには、参照できているか確認のためファイルを1つ作成します。すでに存在す

※環境2の共有フォルタには、参照できているか確認のためファイルを1つ作成します。9 でに存在9 る場合には不要です。

環境 2 の IP: 3.112.202.30 環境 2 で設定したパス

ネットワーク アクセス ーザーのフォルダーは共有されています。 有を設定したこれらの項目にリンクしているユーザーに電子ン り付けることができます。	<u>(一)」を法信</u> するか、また(	はリンクを <u>コピー</u> して、	任意のアプ	IJε	
ーザーのフォルダーは共有されています。 有を設定したこれらの項目にリンクしているユーザーに属子ン り付けることができます。	<u>メールを法信</u> するか、また!	はリンクを <u>コピー</u> して、	任意のアプ	່າງເວ	
有を設定したこれらの項目にリンクしているユーザーに <u>電子ン</u> り付けることができます。	<u>&lt;ールを送信</u> するか、また(	はリンクを <u>コピー</u> して、	任意のアプ	່າງເວ	
個別の項目				▲	
¥¥EC2AMAZ-QN6ODVG¥tmp					
2	画別の項目 tone ¥¥EC2AMAZ-QN6ODVG¥tmp <u>Y2ーター上のすべてのネットワーク共有を表示します。</u>	画別の項目 toma ¥¥EC2AMAZ-QN6ODVG¥tmp <u>ビューター上のすべてのネットワーク共有を表示します。</u>	画別の項目 tom ¥¥EC2AMAZ-QN6ODVG¥tmp <u>Yaーター上のすべてのネットワーク共有を表示します。</u>	画別の頃日 topp ¥¥EC2AMAZ-QN6ODVG¥tmp ビューター上のすべてのネットワーク共有を表示します。	imm

終了(D)

本手順では環境2の環境は以下のため、エクスプローラーより「<u>¥¥3.112.202.30¥tmp</u>」と入力することで参照ができます。

<mark>↓</mark>   <mark>√</mark> <mark>→</mark> <del>↓</del> tmp ファイル ホーム 共有	表示					
オート     オー     オー	★ 切り取り ■ パスのコピー ■ ショートカットの貼り付け - ド	移動先 コピッチ 削除	<ul> <li>名前の 変更</li> <li>フォルダー</li> </ul>	「前新しいアイテム▼ 「 うショートカット▼ 新想	↓ 開く ↓   プロパティ	■ すべ 2000 2000 2000 2000 2000 2000 2000 20
× / · · · F <u>∓</u> < •i2t	/ / / / ///////////////////////////////					
1 b/b 7 bb7	名前	^	更新日時	種類	サイズ	
★ ショックアクセス = デュクトップ	📄 新規 テキスト ドキ	-באטא.txt	2024/02/14 5:28	B テキストド	キュメント	0 KB
	л *					

参照ができることが確認できたら、本項は完了となります。

参照できない場合には、環境 2 の Windows ファイアウォール等のセキュリティ設定やネットワーク的な問 題がある可能性があります。

ネットワーク的に接続可能であるか、セキュリティ設定等を OFF にし参照可能か等ご確認ください。

## 3. 環境1にて Qanat Universe エージェントから参照するための設定を実施

最後に、環境 1 にある Qanat Universe エージェントから環境 2 のフォルダを参照する設定をおこない ます。

1. 環境1のスタートメニューから「Windows 管理ツール/サービス」を選択します。

		^
	iscsi イニシエーター	
	ODBC Data Sources (32-bit)	
		_
8	🞆 Windows Xモリ診断	
Г	1 イベント ビューアー	
	🛹 回復ドライブ	
	🎒 コンピューターの管理	
٢	@ コンポーネント サービス	
d	🤹 <del>サ</del> -ビス	
0	🥝 システム構成	
	₽ 検索するには、ここに入力します	

表示された Windows サービスから、「Qanat Universe エージェント(奉行 V ERP クラウド)」の右クリックメニューを開き、「プロパティ」を選択します。

※「Qanat Universe Agent Update Service (奉行 V ERP クラウド)」のサービスに対す る設定変更は不要です。

🔍 サービス				
ファイル(F) 操作(A)	表示(V) ヘルプ(H)			
(= -) 🔲 🗐	à 🔒 🛿 🖬 🕨 🔳 II II-			
🤍 サービス (ローカル)	〇 サービス (ローカル)			
	Qanat Universe エージェント(奉行V ERP クラウド)	名前 ॐJoanat Universe エージェント	へ (奏行V ERPクラウド)	
	<u>サービスの停止 サービスの再起動</u> 説明: Qanat Universe エージェント(奉行V ERP クラウド)	Calify Windows Audi Calify Windows Audi Remote Access Auto C Remote Access Conne Remote Desktop Servic Remote Desktop Servic Remote Procedure Cal Remote Procedure Cal Remote Procedure Cal Remote Registry Resultant Set of Policy	開始(S) 停止(O) 一時停止(U) 再開(M) 再起動(E) すべてのタスク(K) 参新の情報に更新(F) プロパティ(R)	
		Routing and Remote A	ヘルプ(H)	

3. 開いたダイアログの「ログオン」タブを開き、設定を「アカウント」へ切り替えて「参照」ボタンを押しま

9.				
(ローカル コンピューター) Qanat U	niverse エージェント(奉	『行V ERPクラウド》(	のプロパティ	×
全般 ログオン 回復	依存関係			
ログオン:				
○ ローカル システム アカウント	(L)			
□ デスクトップとの対話を	サービスに許可(W)			
⑦ アカウント(T):			参照(B)	
パスワード(P):	•••••			
パスワードの 確認入力(C):	••••••			
	ОК	キャンセル	適用(A)	

4. 入力欄に、作成したユーザー名を入力し「名前の確認」ボタンを押します。

ユーザーの選択	×
オブジェクトの種類の選択(S): ユーザー または ビルトイン セキュリティ プリンシバル	オブジェクトの種類(O)
場所の指定(F): EC2AMAZ-TQK8CLI	場所(L)
選択するオブジェクト名を入力してください (例)( <u>E</u> ):	
QUAUSEŋ	名前の確認(C)
詳細設定(A)	く キャンセル

5. ユーザーが見つかったこと(入力欄の表示が変わったこと)を確認し、「OK」ボタンを押します。

ユーザー の選択	×
オブジェクトの種類の選択(S): ユーザー または ビルトイン セキュリティ プリンシパル	オブジェクトの種類(O)
場所の指定(F): EC2AMAZ-TQK8CLI	場所(L)
選択するオブジェクト名を入力してください (例)(E): <u>EC2AMAZ-TQK8CLI¥QUAUser</u>	名前の確認(C)
詳細設定(A)	)K キャンセル

6. 表示されたダイアログにて、パスワード、パスワードの確認入力に入力されている値を削除し、 ユーザーに対するパスワードを入力しなおして「適用」ボタンを押し、表示されたダイアログと本ダイ アログを「OK」ボタンを押して閉じます。

(ローカル コンピューター) Qanat U	niverse エージェント(奉行V ERPクラウト	*) のプロパティ ×
全般 ログオン 回復 1	依存闄係	
ログオン:		
○ ローカル システム アカウント	-(L)	
□ デスクトップとの対話を	サービスに許可(W)	
<ul><li>⑦ アカウント(T):</li></ul>	.¥QUAUser	参照(B)
パスワード(P):	•••••	
パスワードの 確認 み 力 (の)・	••••••	
*Esc/())(c).		
	OK キャンセル	, 適用(A)

7. Windows のスタートメニューから「Qanat Universe エージェント(奉行 V ERP クラウド)」の
 設定ツールを開きます。



8. 設定値「ファイルの配置場所」を、環境2の共有フォルダのパス値に変更します。
その際、ホスト名で指定されている場合にはIPでの読み替えをおこないます。
※ホスト名での名前解決がおこなえないケースがあるためです。
※ここでは例として以下の環境2のパス値を利用し説明します。
環境2のパス値

			×
←	28 ネットワーク アクセス		
	ユーザーのフォルダーは共有されています。		
	共有を設定したこれらの項目にリンクしているユーザーに <u>電子メールを送信</u> するか、またはリンクを <u>コピー</u> して、 貼り付けることができます。	任意のア	プリに
	個別の項目		^
	¥¥EC2AMAZ-QN6ODVG¥tmp		
		終了	(D)

Qanat Universe エージェントでの設定

ホスト名 "EC2AMAZ-QN6ODVG" を環境2のIP "3.112.202.30" に読み替えて 「ファイルの配置場所」欄に設定をおこないます。

Qanat Universe エージェント(奉行V ERPクラウド)		×
Qanat Universe エージェント の設定 サービスへの接続設定 (gate) エージェントID (agentid):	qua-0a25ad1f-1398-4749-8ce-XXXXXXXXXXX	
プロキシホスト名 (proxyHost): プロキシボート番号 (proxyPort):		既定値
連携対象とするローカルファイルの設定 ファイルの配置場所:	¥¥3.112.202.30¥tmp	参照道用

9. 「適用」ボタンを押し、ダイアログを閉じます。

以上で本項は完了となります。

## <u>Qanat Universe エージェント(奉行 V ERP クラウド) 共有サーバのフォルダを参照するため</u> <u>の設定手順書</u>

2025/04 版

JBCC 株式会社

本書は著作権上の保護を受けており、本書の全部あるいは一部に関して、JBCC株式会社からの文書による許諾を得ず、無断で複写、複製することは禁じられています。また、本書はユーザーへ通知することなく変更される場合があります。